

第12回大学図書館学生協働交流シンポジウム  
「ウィズコロナの経験をアフターコロナでどう活かすか」  
開催概要

1. 趣旨

大学図書館学生協働交流シンポジウムは大学図書館でさまざまな活動を行っている学生が全国から集まり、他団体と交流を行うことを目的として開催しています。このシンポジウムでは、参加者同士の交流により他団体の成功事例の情報を得たり、新しいアイデアを生み出したりすること、またそれらを自団体に持ち帰ることで各自の活動がさらに活性化していくことを目指します。

今回はコロナ禍以降でも引き続きオンライン形式で行っている活動や対面に戻した活動等を中心に情報共有し、学生がコロナ禍以降の大学図書館に何を望んでいるのか、新しい図書館の在り方について話し合っていきます。

活動報告については、視聴のみのご参加もお待ちしております。

2. 対象者

全国の大学図書館等の学生協働に関係する学生及び教職員

3. 開催日時

令和6年9月5日（木） 13:00～16:30

令和6年9月6日（金） 8:30～11:30

4. 開催形式

ハイブリッド開催

対面会場：鳥取大学 鳥取キャンパス 広報センター

<https://www.tottori-u.ac.jp/about/public/center/>

オンライン会場：Zoom

5. 定員（アクセス数）

対面会場：70人程度（1団体につき5名まで）

オンライン会場：1団体につき5アクセスまで

※ 会場の収容人数やアクセス数が限られるため、申込多数の場合は途中で募集終了とさせていただきます場合があります。

## 6. プログラム

9月5日（木）

- 12：30 受付開始
- 13：00 開会・挨拶
- 13：10 アイスブレイク
- 13：20 活動報告\*<sup>1</sup>
- 15：40 フリートーク\*<sup>2</sup>
- 16：30 終了
- 17：15 懇親会\*<sup>3</sup>

9月6日（金）

- 8：30 ワークショップ\*<sup>4</sup>
- 11：00 全体共有会
- 11：30 終了

### \*1 活動報告

報告する団体は、数枚程度の発表用スライド（Microsoft PowerPoint）をご用意ください。オンライン参加者による発表も可能です。

持ち時間は5分程度の予定ですが、報告団体数により変更することがあります。正式な持ち時間は、申込受付が確定した後のご連絡となります。

報告の後、質疑応答時間を設けます。対面参加者は口頭で、オンライン参加者は感想や質問をチャットで投稿してください。

### \*2 フリートーク

他大学の人を交えたグループに分かれて、フリートークを行います。開始時間は、活動報告の数によって変更することがあります。

### \*3 懇親会

1日目に参加者の親睦を深めるため交流会を行います。ぜひご参加ください。

日 時：令和6年9月5日（木）17：15～19：00

場 所：鳥取大学生協ショップ1Fアエル

会 費：2,500円

※ 会費の支払いは当日受付でお願いします。

※ 参加者が少人数の場合は会場変更や実施しない場合があります。

### \*4 ワークショップ

コロナ禍により大学図書館サービスも大きな影響を受けました。その中には、一時的に利用が停止されたことで忘れられたサービスや、オンラインに移行したサ

ービス、新たに導入されたものの、あまり使われていないサービスがあるかもしれません。

これらのサービスを再認識し、効果的な宣伝手段を考えるワークショップを行います。このワークショップを通じて、自館の魅力を再確認し、他館のサービスを参考にしながら、自館で活かせる方法を見つけましょう。

## 7. 参加費

無料

## 8. 主催・後援

主催：中国四国地区大学図書館協議会

後援（予定）：鳥取県大学図書館等協議会、島根県大学・高等専門学校図書館協議会、  
広島県大学図書館協議会、山口県大学図書館協議会

実行委員館：鳥取大学図書館

## 9. 問い合わせ先

鳥取大学附属図書館（担当：桑山）

〒680-8554 鳥取県鳥取市湖山町南4-101

TEL 0857-31-5671

Mail [gakushin2024\[at\]ml.adm.tottori-u.ac.jp](mailto:gakushin2024[at]ml.adm.tottori-u.ac.jp)

※ [at] は @ に置き換えて下さい